教育のぼりべつ

令和５年
7月 1日
NO.38

発行；登別市教育委員会 TEL. 0143-88-1100　〒059-0014 登別市富士町７丁目 33 番地

『元気いっぱい！ 全力出し切った運動会』若草小学校

６月１１日（日）、若草小学校で「運動会」が開催されました。運動会は、保護者応援人数に制限無く、全校一斉で午前中のみの実施。会場には、多くの保護者が応援に駆け付け、声援・拍手を送る中、子どもたちは、どの競技にも全力で取り組み、日頃の練習の成果を存分に発揮していました。

今年のテーマ「 心を一つに、あきらめず、さいごまで走りぬけ ！！」



１年生徒競走



５・６年生わっしょい！応援綱引き

五月晴れの中、ふれあい農園で「田植え」が行われました!

５月２７日（土）幌別中学校区の地域学校協働事業として「ふれあい農園」（田んぼ）で「田植え」が４年ぶりに実施され参加した小学生や中学生は、苗の植え方の説明を聞いたあと田んぼに入り、泥んこになりながらも、一生懸命に田植え作業に取り組んでいました。貴重な農業体験を通して地域の方々と子どもたちのふれあいの輪が広がる有意義な一日となりました。

これから秋の収穫まで、地域の方々と連携・協働して稲の成長を見守り、たくさんのお米を収穫できることを期待しています。





教育行政執行方針 2023（要旨）

「みんなが通いたくなる」学校づくり



教育委員会は、教育における「不易」と「流行」を見極め、学校・家庭・地域が一体となって、誰一人取り残さない、あらゆる他者を価値のある存在として尊重する質の高い教育の推進に努めていきます。また、学校・家庭・地域の連携・協働をさらに進めながら、社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材を育成するとともに、共に学び支え合う社会の実現に向けた教育を推進していきます。



地域とともにある学校づくり



令和５年度は、市内全小中学校に学校運営協議会を設置して 10 年の節目となります。これまでの成果と課題を検証し、今後の方向性を明らかにし、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていきます。

1人1台端末を活用した学びの充実

北海道立教育研究所や登別市情報教育推進協議会と連携し、教職員研修を開催するとともに、ICT を積極的かつ効果的に活用した教育環境の整備に努めることにより、児童生徒の情報活用能力の育成に努めます。

幼保小中連携

小中円滑な学校間連携や持続を実現するために、相互参観や教職員・子どもの交流を継続するとともに、発達段階や学びの連続性を踏まえた活動の充実に取り組んでいきます。

また、「中１ギャップ問題未然防止事業」を推進し、小中学校９年間を見通した学習指導や生徒指導のさらなる充実に努めます。

いじめ・不登校対策

学校現場に携わる一人一人がいじめや不登校を最重要課題の一つと捉えるとともに、いじめの未然防止や早期発見・早期対応、不登校となった児童生徒に対して個別最適な支援を推進するため、教育支援センター機能の充実に努めます。また、「SOS の出し方に関する教育」を推進し、体験的な活動を取り入れた授業にも取り組んでいきます。「鬼っ子フォーラム」や「ピンクシャツデー」など児童生徒がいじめ問題を主体的に考え、各校が課題を共有する機会を設けるなど、引き続き「みんなが通いたくなる学校づくり」の取り組みを推進していきます。

確かな学力の向上

児童生徒の課題となっている算数・数学の学習支援として、小学校４年生から６年生までを対象に、新たなオンライン演習教材を導入し、学習内容の確実な定着と学力の底上げを図っていきます。

特別支援教育

教育相談の充実や関係機関との連携により、特別な支援や合理的な配慮を必要とする児童生徒が幼児期から一貫した支援を受けられるよう、支援体制の充実に努めます。

英語教育



外国語専科教員や外国語指導助手を効果的に活用し、日常的に英語に親しむ時間を充実させることにより、児童生徒の「聞く・話す」能力の向上を図っていきます。

豊かな人間性の育成

学校行事や学級活動などを通して自己肯定感や自己有用観を醸成し、人間を尊重し他者を思いやる教育を展開していきます。また、地域資源を生かした体験活動やキャリア教育の充実に努めるとともに、地域社会への理解を深める取り組みや教育活動の推進に努めます。

教員の指導力の向上

道教委や各種団体が主催する研修等を積極的に活用し、指導力の向上に努めます。

また、「登別市教育委員会デジタルフェロー」の知見を積極的に活用し、ICT を活用した指導力の向上を図っていくほか、国が進める「学びの保証・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」に参加するとともに、指導者用デジタル教科書などを整備しながら授業改善につなげていきます。学校の働き方改革を一層推進し、児童生徒に対しての質の高い教育活動が持続的に行われるよう努めます。



健 康 ・ 体 力 づ く り

コロナ禍の影響により、児童生徒の体力の低下が見られるため、スポーツ指導員の派遣などを通して、体育指導の充実や運動の習慣化を図っていきます。また、「ノーゲームデー」や「登別市ケータイ・スマホ３つのルール」の周知徹底、家庭における「早寝早起き朝ごはん」の啓発など、規則正しい生活習慣の定着を周知し、健全な心身の育成に努めます。

学校図書館



中学校の学校司書を増員し、授業支援や読書支援の一層の充実を図るほか、児童生徒が気軽に立ち寄ることができる場所として、学校図書館の環境改善を進めていきます。

安全対策・安全指導



避難訓練や１日防災教室などの防災教育のほか、災害等の発生時に児童生徒自らが適切な対応がとれるよう、平時からフェーズフリーの視点を生かした教育活動を推進します。

新型コロナウイルス感染症対策

教育委員会作成の基本対応マニュアル等を常に見直しながら、感染状況を的確に把握し、感染症の拡大防止と教育活動の両立に努めます。



学 校 の 適 正 配 置

幌別小学校と幌別東小学校の統合に向け、統合後の環境整備に関する取り組みを進めるほか、小規模化が課題となっている登別中学校は、「地区別検討委員会」における地域の議論なども踏まえ、適正規模確保に向け、引き続き取り組んでいきます。

文化・スポーツの振興

関係団体の会員減少や活動縮小などの課題が顕著化しているため、世代や団体の垣根を越えた地域とともにある文化・スポーツの振興の実現に向けて、関係団体相互の連携の強化と役割の整理に取り組んで行きます。

家 庭 教 育

家庭教育学級を開設し、学習機会の充実や、保護者同士の交流、親子の時間の確保が図られるよう、努めます。

青少年の健全育成

子育てに関する知識や望ましい生活習慣などを学ぶ機会の確保を図る家庭教育の充実に努めます。また、街頭指導や巡回指導などに取り組むとともに、「こども 110 番スタディちゃんの家」を活用し、不審者と遭遇したときを想定した訓練を実施するなど、学校・家庭・地域と連携し、子どもの非行防止や登下校時の安全確保に努めます。



ふ る さ と 教 育

学校等での学習やまちづくりなどで幅広く活用されるよう、郷土資料館の歴史資料のデジタルアーカイブ化を推進します。

アイヌ文化の振興

知里幸恵の生誕 120 年、「アイヌ神謡集」出版 100 年を迎えることから、彼女の生涯を描いた演劇鑑賞会を開催します。さらに、知里幸恵生誕地の森の整備に取り組むほか、観光交流センター（ヌプル）との連携を図るなど、アイヌ文化への理解を深め、関心が高まるよう努めます。

学校部活動の段階的な地域移行の推進

新たな地域クラブを立ち上げ、これを運営する登別市文化・スポーツ振興財団を支援し、中学生が文化芸術やスポーツに継続的に親しむことができる環境づくりを構築していきます。また、スポーツ施設の老朽化等に伴う修繕のほか、市民会館などの照明の LED 化を進めていきます。



図 書 館

質の高い魅力ある図書館を目指して、資料の収集整備に努めるとともに、郷土資料のデジタル化に取り組むほか、子どもの読書環境の整備と施策の推進のため、「第４次登別市子ども読書活動推進計画」を策定します。

学 校 給 食

安全で安心な給食を提供し、郷土を実感できる食材を取り入れ、ふるさとへの愛着が深まる献立の提供に努めます。また、学校給食センターについては、広域設置に関し室蘭市と具体的検討を進めることを表明しました。なお、学校給食費については、物価上昇により子育て世代の負担が増えていることを考慮し、本年度は据え置いています。



2,726名の子どもたちで新年度スタート！！

４月６日（木）～１０日（月）にかけ、市内全ての小中学校で入学式が開催されました。今年度の市内全体の入学生は、小学校は、前年度より１７名減の２８４名・中学校は、９名減の２７６名でした。在校生を合わせると市内全校の児童･生徒数は、小学校 1,８３８名、中学校８８８名となり、９５名減の合計 2,７２６名で新年度をスタートしました。

本年度の各学校の児童生徒数（５月１日現在）

小学校名	児童数	前年比	中学校名	生徒数	前年比
鷲別小学校	２２１名	－16	鷲別中学校	２７２名	＋10
若草小学校	２９９名	－3	緑陽中学校	２９３名	－37
富岸小学校	３６３名	－5	幌別中学校	１４８名	－10
青葉小学校	２５２名	＋3	西陵中学校	１１６名	－13
幌別小学校	２３９名	－8	登別中学校	５９名	－12
幌別西小学校	２７６名	－10	合　　計	８８８名	－62
幌別東小学校	５５名	－4	小中学校合計	2,７２６名	－95
登別小学校	１３３名	＋10			
合　　計	1,８３８名	－33			



幌別小学校の入学式



鷲別中学校の入学式

「第40回登別市少年の主張大会 兼令和５年度少年の主張胆振地区大会予選会」



最優秀賞
孔 愛子さん

６月８日（木）登別中学校を会場に、市内５中学校と登別明日中等教育学校（前期課程）の計６校から選出された１２名の生徒が出場して、第 40 回登別市少年の主張大会が開催されました。結果は、次の通りです。

最優秀賞	孔（こう）　愛子（あいこ）	登別市立幌別中学校『あだ名禁止問題で感じたこと』
優秀賞	林（はやし）　眞加（まなか）	登別明日中等教育学校『「普通」は存在しない』
奨励賞	菊地心花（きくちこのか）	登別市立鷲別中学校『ＳＤＧ’ｓの取組』
特別賞	志家衣織（しけいおり）	登別市立西陵中学校『いじめについて』

